

ISOの動向について

一般財団法人 日本自動車研究所 認証センター
センター長 島田 信雄

ISOマネジメントシステム規格の動向

NO	規格番号等	規格等名称	発行	内容
1	ISO 9001 次期改訂	品質マネジメントシステム －要求事項	改訂検討作業開始 2015年発行予定	新しいアイデア及びコンセプトの検討、 市場調査などの予備的作業から行なう。
2	ISO 14001 次期改訂	環境マネジメントシステム －要求事項及び利用の手引き	NWIP可決 DIS:2013年末～2014年 初予定 IS:2015年1月発行予定	Guide83共通テキスト(NO.8参照)の織り 込みによる章構成の変更。 環境パフォーマンス織り込み検討。
3	ISO 19011:2011	マネジメントシステム監査のための指針	2011年11月11日発行 JIS化2012年3月21日 2010	第一者・第二者監査を対象に限定。 第三者審査についてはISO 17021:2011へ。
4	ISO 39001	道路交通安全マネジメントシステム	FDIS:2012年6月1日 2012年11月発行予定	広範囲の関連組織が道路交通における事 故を減少させることに繋がる活動を行う 場合に適用できるマネジメントシステム 規格。
5	ISO 50001:2011	エネルギーマネジメントシステム	2011年6月15日発行 JIS化2011年10月20日	エネルギー効率とエネルギーパフォー マンスを改善するためのマネジメントシ ステム規格。 ISO14001との比較では、一層パフォー マンス・データ重視と言える。
6	Guide83 : 共通テキスト (ISO/TMB JTCG on MSS) [JTCG:Joint Technical Cordinate Group] →正式には「ISO/IEC Directions, Part 1/Consolidated ISO Supplement – Procedures specific to ISO/Third edition, 2012」の「Annex SL Proposals for management system standards」へ織り込み		共通テキストTMB承認 (2012年2月) 適用ルールの決定 ISO/IEC Directions, Part1 2012年5月1日発行	種々のISOマネジメントシステム規格の章 構成を整合化させるために共通要求事項 を定めた文書。

共通テキストとは

1 目的

全てのマネジメントシステム規格の基本構造、用語、共通部分の要求事項を同一化のニーズの高まりに対応

2 開発の経緯

2006年より、JTTCG (Joint Technical Coordination Group) を設置し検討

- ・JTTCG 共通文書
- ・ISO Guide83
- ・HLS (High Level Structure)



2012年5月1日 ISO/IEC Directives, Part 1の付属書SLとして発行



MSS規格作成の際、この付属書SLを使用しなければならない

共通テキスト(1)

1. Scope (適用範囲)
2. Normative references (引用規格)
3. Terms and definitions (用語及び定義)
4. Context of the organization (組織の状況)
 - 4.1 Understanding the organization and its context (組織及びその状況の理解)
 - 4.2 Understanding the needs and expectations of interested parties (利害関係者のニーズ及び期待の理解)
 - 4.3 Determining the scope of the XXX management system (XXX マネジメントシステムの適用範囲の決定)
※ XXX には環境、品質など、対象となる各マネジメントシステム分野 (discipline) の名称が記述される。
 - 4.4 XXX management system (XXX マネジメントシステム)
5. Leadership (リーダーシップ)
 - 5.1 Leadership and commitment (リーダーシップ及びコミットメント)
 - 5.2 Policy (方針)
 - 5.3 Organizational roles, responsibilities and authorities (組織の役割、責任及び権限)
6. Planning (計画)
 - 6.1 Actions to address risks and opportunities (リスク及び機会への取組み)
 - 6.2 XXX objectives and planning to achieve them (XXX 目的及びそれを達成するための計画策定)

共通テキスト(2)

7. Support(支援)

7.1 Resources(資源)

7.2 Competence(力量)

7.3 Awareness(認識)

7.4 Communication(コミュニケーション)

7.5 Documented information(文書化された情報)

7.5.1 General(一般)

7.5.2 Create and update(作成及び更新)

7.5.3 Control of documented Information(文書化された情報の管理)

8. Operation(運用)

8.1 Operational planning and control(運用の計画及び管理)

9. Performance Evaluation(パフォーマンス評価)

9.1 Monitoring, measurement, analysis and evaluation(監視、測定、分析及び評価)

9.2 Internal Audit(内部監査)

9.3 Management review(マネジメントレビュー)

10. Improvement(改善)

10.1 Nonconformity and corrective action(不適合及び是正処置)

10.2 Continual improvement(継続的改善)

ISO 9001, ISO14001

	ISO 9001	ISO 14001
改訂時期	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年発行予定で、改訂検討作業開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年1月発行予定 ・NWIP可決 ・DISは2013年末～2014年初予定
改訂のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テキストの採用 ・新しいアイデア及びコンセプトの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テキストの採用 ・環境パフォーマンスの織り込み検討
JARI-RBの対応	<p>動向注視と情報の先取り</p>	

ISO 19011 (MS監査のための指針)

1) 規格改定状況

- ・2011年11月11日 発行
- ・2012年 3月21日 JIS発行

2) 規格概要

- ・第一者、第二者監査を対象に限定
- ・第三者審査については、ISO/IEC 17021へ



ポイントは本セミナーで紹介

ISO 39001 (道路交通安全MS)

1) 規格発行状況

- ・2012年6月1日 FDIS発行
- ・**2012年11月** 規格発行予定

2) 規格概要

- ・**交通事故による死者、重傷者の低減が主目的**
- ・道路交通に関係する全ての組織に適用可能
- ・共通テキストを使用

3) JARI-RBの対応

- ・**認証事業参入を検討**
- ・積極的な情報収集
- ・審査員、審査体制の整備

ISO 50001 (エネルギーMS)

1) 規格発行状況

- ・2011年 6月15日 発行
- ・**2011年10月20日 JIS化**

2) 規格概要

- ・**エネルギーパフォーマンス改善**に必要なシステム及びプロセスを確立し
環境影響やエネルギーコストを低減する
- ・全ての組織に適用可能

3) JARI-RBの対応

- ・認証事業参入し、営業活動中

4) **日本全体**の状況

- ・認証取得組織・・・**10社**(山崎砂利商店、日立製作所・大みか事業所等)

ご清聴ありがとうございました